

2011年度は、年度前半に企業の広告活動低迷の影響があったが、テレビ広告市場は回復基調。2012年度の業績は、震災からの反動増や、ロンドン五輪による増収を見込む。

当連結会計年度(2011年4月～2012年3月)の日本経済は、東日本大震災の影響によって依然として厳しい状況にあるものの、復興需要により緩やかな回復基調を維持しました。一方で、原油高の影響や欧州の政府債務危機による海外景気の下振れ等により、景気回復のシナリオに修正が生じるリスクを抱えながら推移しました。

このような状況の中、当連結会計年度の売上高は1,115億2千1百万円、営業利益は21億8千8百万円、経常利益は25億8千8百万円、当期純利益は13億8千8百万円となりました。

売上高

1,115億2千1百万円

営業利益

21億8千8百万円

当期純利益

13億8千8百万円

1株当たり期末配当金

10円

年間配当 20円
連結配当性向 38.8%

2012年度 連結業績予想

売上高……………1,170億9千5百万円
(前年同期比5.0%増)
営業利益……………28億4百万円
(前年同期比28.2%増)

- テレビ広告収入は、震災からの反動増や、ロンドン五輪による増収が見込める
- BSジャパンは、媒体価値の向上に伴い、引き続き増収基調を予想
- 原油高の影響や欧州の政府債務危機による海外景気の下振れ等に注視が必要

1株当たり配当金

〈配当方針、目標〉
グループの成長と企業価値の増大、長期的な経営基盤の充実に向けた内部留保とのバランスを考慮し、安定的な配当の継続を重視しつつ、業績に応じた利益還元に努めます。
1株当たりの配当金は年額20円を下限とした安定配当に加えて、業績に連動した配当として、連結ベースで配当性向30%を目標にしています。

〈2012年度 配当予想〉

中間配当 1株当たり12.5円
期末配当 1株当たり12.5円

\ Check! /

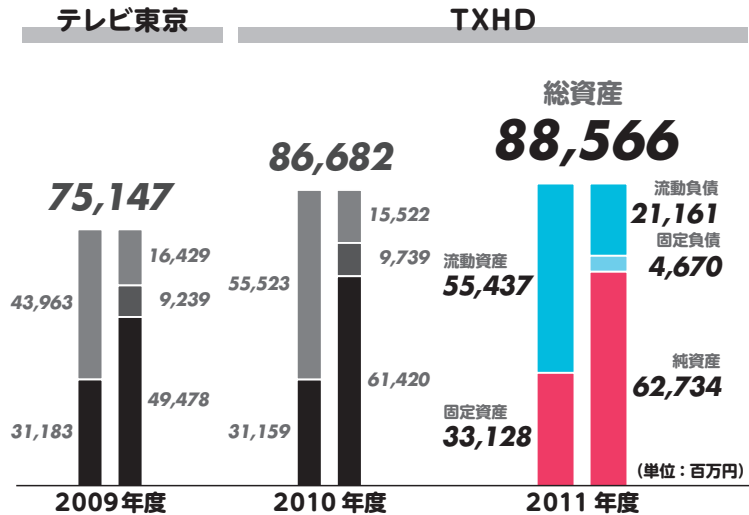
連結財務諸表(連結貸借対照表、連結損益計算書ほか)、財務ハイライトは当社IRサイトをご覧ください。

TXHD 財務・業績情報

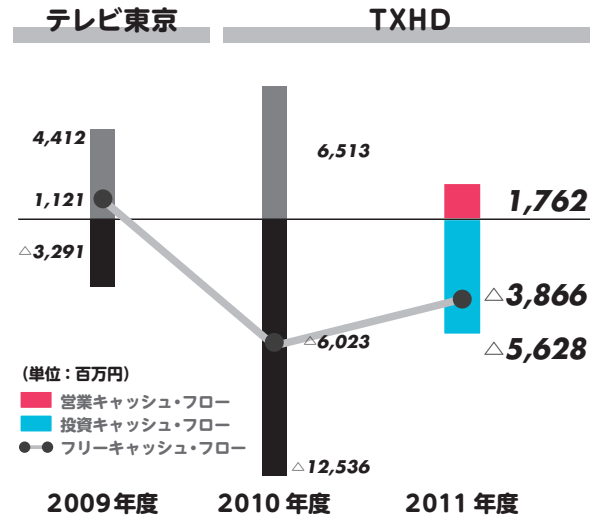
検索

<http://www.txhd.co.jp/ir/finance/>

資産の状況



フリーキャッシュ・フロー



資産の状況

〈流動資産55,437百万円の主な内訳〉
 ・現金及び預金 …… 20,695百万円
 ・受取手形及び売掛金 …… 20,841百万円
 〈固定資産33,128百万円の主な内訳〉
 ・有形固定資産 …… 17,876百万円
 ・投資有価証券 …… 8,424百万円
 〈流動負債21,161百万円の主な内訳〉
 ・未払費用 …… 9,185百万円
 ・支払手形及び買掛金 …… 2,949百万円
 〈固定負債4,670百万円の主な内訳〉
 ・退職給付引当金 …… 3,264百万円
 〈純資産62,734百万円の主な内訳〉
 ・株主資本 …… 60,774百万円

フリーキャッシュ・フロー

当連結会計年度末の現金及び現金同等物は81億8千5百万円となりました。
 東京スカイツリーに設置する放送機材等による有形固定資産の取得が22億8千9百万円の資金支出となったことなどにより、フリーキャッシュ・フローは38億6千6百万円の資金支出となりました。

損益の状況

